

科目名	教育方法論					開講 キャンパス	神園
担当者	金久慎一・米満 潔						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	学習指導要領の改訂により、基礎的・基本的な知識・技能の習得とその内容を実生活に活かす力や学習意欲の喚起等が重視されている。本授業では学習指導論、教育課程論、教育評価論等の観点に基づき、実際に授業実践を行うために必要となる教育方法・技術についての基礎的な知識の獲得を目指す。また、インターネット上のwww (World-Wide Web) には、世界中のあらゆる種類の大量のマルチメディアデータが存在するが、このデータを教室から教材として利用する方法と留意点について説明する。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 学習指導要領の変遷を調べるとともに、その主たる変革内容について調査し、時代背景とのかかわりについて理解することができる。 2) 授業構成要素（目標、内容、指導方法、指導組織・形態、学習組織・形態、学習環境・メディア、学習評価等）について具体的に理解できる。 3) 授業成立要件として、児童の強い課題意識を喚起することが重要であり、そのための方法について考えることができる。 4) 授業を成立させるための教材把握力、授業構成力、授業評価力等の授業力やそれらを支える要素についての理解を深めることができる。 5) 授業展開を行う中で必要に応じて個別化の場面やグループ学習場面を位置づけることの必要性が理解できる。 6) 児童の思考を発展・深化させるためには発問や板書、ノート指導等が大切であることを理解できる。 7) コンピュータや視聴覚機器の有効活用の仕方が理解できる。 						
学習方法	グループ調査発表 講義						
テキスト及 び参考書等	必要に応じて提示する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○		◎	50		
小テスト等	○	○			15		
宿題・授業外レポート	○	○	◎		15		
授業態度			○		10		
受講者の発表							
授業への参加度			○	○	10		
その他							
合計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	オリエンテーション (最近の教育課題について)						
第2週	PISA 調査結果や学力調査結果などをもとに、今後の教育の方向や授業のあり方について考え合う。						
第3週	現代の求められる学力や学校教育における諸問題を調べ、その解決方法について考え合う。						
第4週	系統学習や問題解決学習の長所・短所、授業力などを調べ、話し合う。						
第5週	過去と現在の学習指導要領を比較し、今、求められている教師の資質について調べ、話し合う。						
第6週	単元学習や評価について調べたり、一斉授業と個別化授業の相違を調べたりしながら考え合う。						
第7週	情報機器や情報ネットワークの教育的価値やポートフォリオなどについて調べ、考え合う。						
第8週	最近では小学校に栄養教諭や司書教諭が配属されるようになってきた。その具体的な役割について調べ、考え合う。						
第9週	小学校での教育課程やその編成上の配慮事項について調査するとともに、話し合いを通して留意点を整理する。						
第10週	よい授業を実施するために、重要な指導方法を整理する。(レポートテストを含む)						
第11週	教育における ICT の利用状況について考える。						
第12週	具体的操作活動を通して教育における ICT の有効性について考える。						
第13週	具体的操作活動を通して ICT を活用した多様な教育のあり方を考える。						
第14週	具体的操作活動を通して教育に ICT を利用する際の配慮や留意点について考える。						
第15週	まとめ (レポートテストを含む)						
第16週							
備考	授業前にはそれまで学習した内容を振り返り、本時学習で学ぶべき内容の確認をしておくこと。授業後は、記録ノートをもとに、理解できた内容を確認すること。						